

(様式2)

# 学校関係者評価報告書

愛媛県立宇和島水産高等学校  
学校番号(41)

評価実施日		令和6年2月26日(月)	
委員	氏名	所属等	備考
	谷本 治	学校評議員、宇和島地区少年警察ボランティア協会	
	田島 美加	保護者代表、PTA会長	
	渡邊 昭生	学識経験者、愛媛県農林水産研究所水産研究センター長	
	広沢 初志	地域代表、愛媛県漁業協同組合宇和島支所 副運営委員長	
	脇本 俊二	中学校関係者、宇和島市立城東中学校長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導 家庭学習時間については、2時間以上の目標であるが、学校での学習に関しても、強制だけではなく、生徒のやる気を起こす方法を工夫してほしい。生徒によっては、家の手伝いなどを行っている場合があるかもしれない。実態の把握を行い、学校での学習も有効なものではないか。校内テストの結果を見ると、頑張っている様子が伺える。継続をしてほしい。放課後に生徒に補習等をする場合についても、部活動もあるため、中途半端にならないように、生徒の意見も聞いてほしい。</p> <p>(2) 生徒指導 出席については、コロナの影響があり、体調不良等の場合、出席することに関しての恐怖感があるのではないかと。現在中学校では、学校に来たら、早退や遅刻をしても皆勤賞の該当となる。コロナ禍での制限が緩和され、コロナ前の状態に戻つつあることで、様々な行事ができたことは良かった。交通マナーについても引き続き、加害者にも被害者にもならないように指導して欲しい。また、生徒の補導等の情報についても、こういった機会を利用して教えてほしい。協力できることは行いたい。</p> <p>(3) 進路指導 卒業までに、資格を取得していない生徒も存在する。どのような資格が取得できるのかを公開してはどうか。進学・就職においては、個別指導の充実により、第1志望に合格・内定することができてよかった。来年度はぜひ、大学進学者についても育成してほしい。</p> <p>(4) 業務改善 教職員の時間外労働に関しては、目標数値と現状が分かるような工夫をしてほしい。教職員の中には、放課後に生徒と話をしたり、教職員同士で息抜きをしているものいるかもしれないが、まだまだ仕事に追われ、遅くまで勤務しているものもいると思われる。来年度以降も継続して、働き方改革に取り組んでいく必要がある。</p>	<p>・家庭学習時間の少ない生徒の原因や実態を把握し、担任が家庭と連絡を取りながら改善に努める。また、学校での補習等についても各生徒の事情を考慮して実施するよう検討する。 ・学習活動全般について、指導に工夫を凝らし、生徒の興味・関心を喚起する。</p> <p>・基本的な生活習慣の確立に努めるとともに、安全教育にも全教職員で取り組んでいきたい。学校行事等については、更に来年度も、基本的な感染症対策を講じながら、保護者や地域の方にも開放し、参観・参加していただく方向で進めていきたい。 ・善悪の判断ができるように、厳しくも優しい目を持って、生徒指導に努めていきたい。</p> <p>・取得できる資格等の一覧をホームページ等で公開したい。 ・応募前見学を勧め、地元中心に学科の特性を生かせる事業所への関心を高めさせる。 ・国公立大学等への進学を実現させるため、個別指導を充実させたい。</p> <p>・校務支援システムの活用を推進するなどし、業務の効率化を図るとともに、遅くなっている教職員へ声かけをし、その理由を把握して、適切な仕事配分を行う。 ・教職員の勤務実態をしっかりと把握し、教職員が心身ともに充実した職場づくりを行う。</p>
<p>2 説明・公表について</p> <p>(1) 寄宿舎での食事面での改善などが知れて、良かった。</p> <p>(2) 学校の再編に向けて、様々な情報を同窓会や保護者・地域に発信してほしい。</p>	<p>・施設・設備の充実や様々な機会を捉えて、保護者や地域へ更なる情報発信を行い、校区外からの生徒の入学が増えるよう努めていきたい。また、市の協力・支援についても求めていきたい。</p>
<p>3 学校運営への提言</p> <p>(1) えひめ丸の体験乗船や生徒主体による情報発信力で、学校の魅力を更にアピールしてほしい。</p>	<p>・今後も、生徒の意見も幅広く反映できるように生徒会等との意見交換の機会を設けたい。 ・生徒を交えた、保護者・中学校への説明会や体験入学、ホームページの充実等で、学校の魅力を発信していきたい。</p>